

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2015年12月1日 147号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



●上段左：雨後の養殖池、●上段右：トレーラーハウス、●下段左：レダの新設備、冷凍車、●下段右：新しい養殖池造り



タロイモ水田の作業

十二月はクリスマスのため、中旬から一般従業員たちが帰省するので、僅かなスタッフで基地活動を継続することになります。パクーの人工孵化のより大きな成功のためにも、支援者の皆様と現地スタッフ、世界各地の会員が心を一つにして、実り豊かな新年を迎えられるよう頑張つてまいりましょう。

十月下旬より、パンタナール地域は雨季に入りました。草木がみるみる青々と繁り、あらゆる生命がパワーを全開して活動します。豊富な水分を得て、微生物、菌類、草木、虫などが増殖します。もちろん、蚊も大発生します。すると草食動物のみならず、虫を捕食する魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類なども豊富な栄養源に恵まれ、一斉に繁殖期に入ります。パラグアイ川は禁漁期になり、多くの野生生物が賑やかに生を謳歌するのがこの季節です。

十一月十三日から二十四日まで、パンタナールのエコツアーが実施されています。自然界の旺盛な生命活動を見るには、最適の季節。普段あまり歌わない鳥もよく歌います。美しい野の花、水辺の花を訪ね歩くだけでも時間が足りないくらいでしょう。レダ基地では、日常の諸作業に多忙な中、エコツアーのメンバーを迎える準備を整えました。スタッフ全員が広い基地で東奔西走の毎日を送っています。

パクーの養殖では、池の整備と新設が進められています。貴重な資源を監視するため、トレーラーハウスを導入しました。夜間も交替で監視を続けています。また、魚の搬送のための冷凍車が完成し、レダ基地に到着しました。

小橋さんは、ソーセージやかまぼこ作りにいっそうの工夫を重ねています。パクーの卵入りかまぼこもその一つ。レダの木を使って燻製を作ることにも挑戦しています。

美味しいマンゴーの実が大きくなっていますが、緑色のインコたちも必死で食べに來ています。（三面に関連記事）

本日は読者の皆様に食べていただければ、マンゴーの木々も喜ぶことでしょう。グレープフルーツも美味しいです。

雨季を迎えたパンタナール、レダ基地

★レダから一時帰国中の大山哲夫氏にインタビューしました。

Q レダでは何を担当していますか？

A 私の現在の担当は養豚（現在七百余頭）です。

Q レダで最も苦心したことは何ですか？

A ①最近子豚の誕生が多くなりました。現在豚ランドには母子豚の部屋が14室なのですが、入りきれなくて困っています。本来は一部屋に一組のファミリーを入れるのですが、二組、三組のファミリーを入れても、外に部屋待ちの母子



レダ基地で活躍する大山氏。



清潔な豚舎で授乳中の豚ファミリー。

豚が数組待機しているという状態です。②対策としては豚舎を増やすことです。増やすことですが、当面の手段として複数の群れ飼いという方法を考えています。③その場合、母豚どうしの争いが起きて、エサを食べられない母豚が出てしまいます。それで部屋割りを決める前に、それぞれの母豚の性格をよく知ることが大切です。母豚は十豚十色で、それぞれに良い点、悪い点があるのです。④よく声を掛けて、手でスキンシップしてあげれば、

豚は人が好きで、すぐなついてきます。ある時、病気になってやせ細り、歩けなくなっていた母豚がいましたが、毎日手当てして、注射を打ったり、汚れを拭いてあげたり、体中に付いた蟻を除去してあげたりしているうちに、元気に歩き出し、エサを食べられるようになりました。愛情をかければ応えてくれるという、最も自然な摂理に触れた思いがしました。⑤苦心することとはあっても、時間と努力を続けて行けば、神様の創造の喜びに出会えるということです。



人なつこい豚の眼差し。



レティロの豚たち。日中は保護柵の外でのびのびと育つ。

Q 将来の抱負をどうぞ。

A ①レダでは今、理想郷造りのプランを作っていて、五十年、百年先の理想を実現すべく歩んでいます。本当に夢のような素晴らしい内容を作っているのです。文先生は「天国はお伽話のような世界だよ」と言われました。レダは正に、お伽話の実現を毎日毎日、一步一步築き上げていくという生活です。②砂糖の味はどんなに説明しても、

舌で味わって見なければ分からないといわれるように、皆さん、ぜひレダに来て、私たちの未来の理想郷造りを味わってください。

Q 日本滞在中に、どんなことをしたいですか？

A ①レダで一年歩んで、日本では約一ヶ月の滞在なので、まず健康のチェックをして、レダでの開拓のための体力づくりをすることが一番の目的になります。②次には、レダでの歩みを支えてくれる人々に感謝を表すことです。例えば家族に何か料理を作ってみたり、現実はまずい料理になっても心を尽くしてやることです。その他、家の一年分の汚れを掃除したりで、あつと言う間に一ヶ月は終ってしまいますね。

Q 日本の支援者の方々に一言、何でもどうぞ。

A ①本当に皆様の物心とものご支援に心から感謝致します。どうか皆様、長生きしてレダでの福地造りを見守ってください。今は私もまだまだのろまな歩みですが、諸条件が整えば、あつと言う間にレダは大きな発展を遂げることでしょう。日本の反対側にあつて、考えられないような環境なので、お出でになって見ていただく以外に説明できないことがいっぱいあります。レダは神様の残してくださった大自然の美しさ



大山氏の不在中、豚を世話する青木通泰氏。

と、自分の中の原理原則が生きる世界です。この中で生活すれば、人間本来の姿に立ち返ることのできる唯一の学校です。人間に生まれてよかった、生きていてよかったと思えて、長生きできる所です。ぜひレダに来てください。待っています！



オキナインコ



クロガミインコ



★緑色のインコたち

パンタナールに緑色のインコが多くいる。声は必ずしも美しいとは言えないが、姿が愛らしく、幼鳥を捕らえてペットとして育てる人たちがいる。カゴに入れられたインコは、都市で商品にもなる。しかしパンタナールで農業を営もうとすると、このたくましい緑の野鳥による食害に悩まされることになる。緑色のインコで代表的なのは、オキナインコ、キカタインコ、クロガミインコ、アオボウシインコなどである。彼らは頑丈なくちばしを器用に使って、ヒマワリ、イネ、ソルゴ、マンゴー、ほかあらゆる穀物や果実を旺盛に食べまくる。ある作物を初めて栽培する時はインコたちも様子を見ていることが多いが、二作目からは食べにかかる。まず最初の一羽

キカタインコ



が食べて、大丈夫であることが分かると、次から次へと後に続く者が現れる。するとインコたちは、たちまち爆発的に増加し、毎朝通勤ラッシュユサながらに、農場や果樹園に向かって飛来するようになる。学習能力も高く、オドシ、網、袋がけなど、たちまち見破り、その万能とも言えるくちばしで、器用に硬い皮をむき、網を食い破り、袋には穴を開けて、種子や果実を食うまくる。

野鳥による食害を克服するには、どうしたらいいだろうか？ 鳥たちが食べきれないほど多く栽培すればよい、とはよく言われる。理屈の上ではその通りである。しかしパンタナールは広く、その森はアマゾン森ほどには豊かではない。渉禽類は湿原で採餌できるが、他の鳥たちは餌探しに忙しく飛び回らねばならない。そこに突然人間の手によって食物の豊富な農場が出現すれば、天から降った楽園のようなものである。広大な地域からその楽園に鳥たちが大集合し、栄養を摂り、繁殖する。この襲来に対抗するには、それでも有り余る収穫が可能な規模で作付けするか、ワタ、サトウキビ、根菜類など、鳥の食べない作物を栽培するしかないのだ。

パンタナールは、野鳥とバードウォッチャーにとつては、既に文句なしの福地である。しかしそこで人間が生活するには、すさまじい野生の生命と付き合う覚悟が必要だ。

奈田直宏氏が北米における活動を報告



北米における活動を報告する奈田氏。

十一月八日、午前十一時より、大山街道ふるさと館における定例集会で、当会のある奈田直宏氏が活動報告をしました。以下、その概要です。

国を横断しました。まずは、うために啓蒙をしていこうと、の聞き手でも、行つて話をしてきました。」「大陸を回つてみて、各地で日本人の女性たちがいかに頑張つていて、基盤を作つてきたかを実感しました。彼女たちは、行く先々で裏方として準備に骨を折ってくれました。私も疲労と眠りとの戦いをしながらも、訪問を継続するう

ちに、カナダ人やアメリカ人たちからだんだんと歓迎を受けるようになってきました。」「特に苦勞の多い最前線で頑張っているレダの報告は、つたない日本人の英語でも、一生懸命に話せば、一生懸命に聞いてくれました。また、英語版のレダ紹介のDVDは、大きな効果がありました。英語ができる人は是非、北米に来てアメリカやカナダの人々を復興させてほしいと思います。彼らの多くは一旦その心に火が点くと、すさまじい底力を発揮してくれます。」「また、韓鶴子博士（文夫人）も環境問題を解決したいと、レダの活動に期待しておられます。環境問題の専門家の赤城勲さんを始め、日本の皆様には、アメリカでも必要に応じて、啓発活動などを担当してほしいと思います。」「是非、レダを通して、学術界や宗教界などが、南北米両大陸間で、また世界中と連携した活動を展開できたらと思っています。」「またプロジェクトを提唱された当時の文総裁の年齢を思うと、私たちは、さらに元気になつて、レダに進軍しないといけません。体を動かしましょう。南北米の会員は、貴重です。年をとつても、願われた場所にあつては存在していること自体が価値あるものです、だから自信を持つて一緒に頑張つて行きましょう。」「



東京総支部の皆さんとともに！



神奈川総支部の皆さんとともに！



北日本総支部の皆さんとともに！

奈田氏の報告を聞き、参加者たちは、「太平洋を越えた連帯を感じ、とても嬉しい話でした」「レダプロジェクトにますます希望がわきました」などと感想を口にしていました。最後に、総支部ごとに記念撮影をしました。（戸石記）

一般社団法人 南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

メールアドレスが変わっております！

（新）E-メール：office@asd-nsa.com

（新）ホームページ：http://asd-nsa.com

会員種別

◆会員一口1000円／月 ※口数は申込者が申告

◆特別会員一口1万円／月 ※口数は申込者が申告

◆法人会員一口1万円／月 ※口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行 00290-5-113072

加入者名：シャ）南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申し込みください。

また、ホームページからもダウンロードできます。

PDF形式 <http://asd-nsa.com/nyuukai.pdf>

Word形式 <http://asd-nsa.com/nyuukai.docx>